

林業ぐんま



平成26年度森林土木写真コンクール (題名)「復旧治山事業」

会長・環境森林部長新年挨拶 林政情報 平成二十六年群馬県建設工事表彰普及コーナー ぐんま林業学校 群馬県児童生徒木工工作コンクール 群馬県優良素材展示会 お知らせ(きのこ品評会、成果発表会) 懐かしいあの頃 昭和58年度地区生椎茸品評会上位入賞者 森の談話室 「大きいギンナンづくり」 各地のたより みどり市 星野長太郎さん (渋川) 木造公共施設建築現場 視察研修の開催 (利根) 特用林産物の消費拡大イベント (富岡) かぶら森と木のまつり開催 (吾妻) 文化放送で県産きのこPR (桐生) わたらせ森と木のまつり 地域を担う人 狩野 悟さん 中林 悠平さん 小林 豊さん 宮本 奈枝さん 高井 聖耶さん 細谷 里志さん 井上 巻雄さん 星野 光さん 林業試験場から 天然記念物の収集・里帰り事業 トピックス 農林業就職面接会 森林・林業を支え、みどり豊かな 郷土群馬づくりに貢献する	1 1 2 3 3 4 5 6 7 7 7 8 9 10 10 11 12 13 14 15
---	---

新春
2015

上毛緑産工業株式会社

代表取締役 高橋 範行

ISO9001 認証取得

本社 〒370-3607 群馬県北群馬郡吉岡町小倉 827-87 TEL 0279-54-7723 FAX 0279-54-8603

仙台営業所 〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室 4-2-35 TEL/FAX 022-786-1406

URL <http://www.jouryoku.com/> E-Mail webmaster@jouryoku.com

森林土木事業を通して、山村振興と山地災害防止に貢献

群馬県森林土木建設協会

会長 山藤 浩一

〒371-0854 群馬県前橋市大渡町1-10-7(群馬県公社総合ビル6階)

☎(027)280-6256 FAX(027)255-6265

E-mail: gun-sidokeki@tiara.ocn.ne.jp

ふるさとの木で家を建てよう

県産材を使って

住宅を建築すると最大80万円

県が補助します

内装を施工すると最大15万円

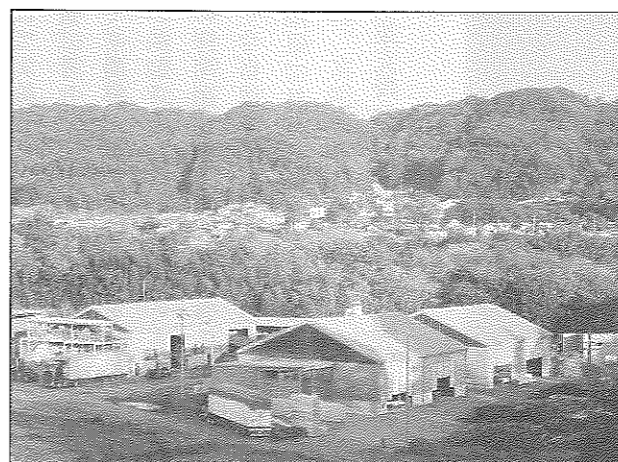


一般社団法人 群馬県木材組合連合会

〒379-213 前橋市西善町524-1

電話: 027-266-8220

<http://www.gunma-wood.com/>



関東一の林業県を目指して!
渋川県産材センターから林業再生!!



群馬県森林組合連合会
代表理事会長 星野 已喜雄

本所 前橋市上大島町182-20 ☎(027)261-0615(代)

渋川県産材センター

渋川市白井乙佐又1236-4 ☎(0279)22-5000(代)

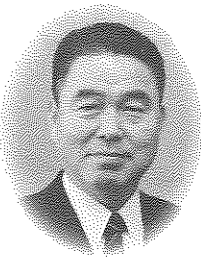
発行責任者 星野 已喜雄
印刷 杉浦印刷株式会社

平成二十七年一月一日 発行

ひとりごと 新年おめでとうございます。長い年末年始のお休みも終わってしまえばあつという間です。今年の冬は昨年のような大雪がないことを祈ります。世界遺産、ぐんまちゃん、大河ドラマの波に乗って、明るい飛躍の年になることを期待しています。

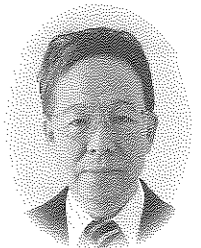
(K・A)

林政情報



群馬県林業改良普及協会長
星野 己喜雄

謹賀新年



群馬県環境森林部長
青木 勝

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。皆様には、常日頃から協会の運営につきまして、格別なるご支援ご協力を賜り衷心より感謝申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます。昨年暮れの総選挙で新しい体制が出来ました。政府による経済政策が、今年こそ大きく成果を発揮して、地域の隅々にまで景気回復の波が押し寄せてくれることを強く期待するところです。

昨年二月には記録的な豪雪により大きな被害に見舞われましたが、いまだに完全復旧には至っておりません。東日本大震災からの放射性物質による影響や補償も、特にきこの関係では引き続き重大な問題であり、県のご支援、ご指導による解決が待たれます。ところで、私達の先人が嘗々と植林し、大切に育ててきた森林の多くがすでに収穫期を迎えておりますが、木材価格は依然として再生産可能な価格とはなっておりません。そんななかでも、渋川県産材センターは順調な稼働を続けており、国や県の間伐等の手厚い補助やご指導に深く感謝しております。

また、群馬県産材生産流通協同組合では、藤岡にバイオマス供給センターを稼働させるなど、各地で木材の再生エネルギーをはじめとする新しい利用が模索されています。森林の蓄積を増やすだけでなく、皆伐して更新する循環が災害に強い山づくりのためにも必要と考えます。

昨年は、四月から「ぐんま緑の県民税」がスタートし、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されました。また、「ぐんまちゃん」がゆるキャラグランプリで念願の一位に輝きました。さらに、新年から群馬県の初代県令榎取素彦の妻を主人公とするNHK大河ドラマ「花燃ゆ」もスタートしました。

追い風が吹いていることを強く感じています。この追い風を林業振興、山村振興、「森林県」から「林業県」への流れにつなげていこうではありませんか。結びに、会員並びにご家族の皆様がご健勝で活躍されますようご祈念申し上げ、新年にあたってのあいさつとさせていただきます。

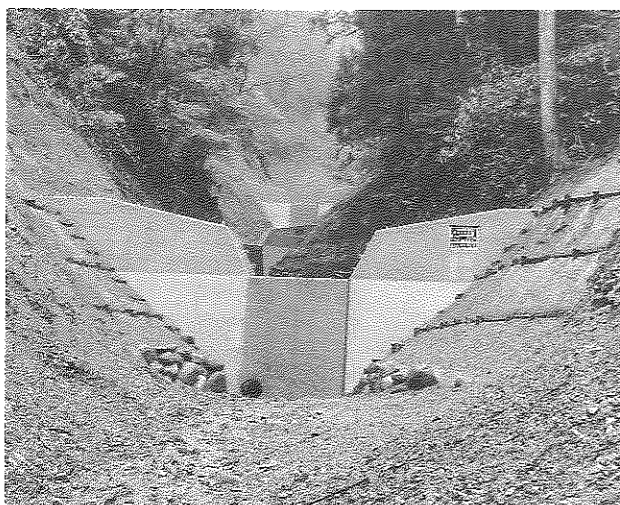
平成26年度 群馬県建設工事表彰

建設工事表彰は、県民の生活及び経済活動等の基盤となる社会資本整備を適切に推進するため、県が発注した建設工事等について優秀な技術により施工した建設業者等を表彰し、品質の高い工事を確保するとともに、建設業等の発展及び施工技術の向上に資することを目的として、毎年、知事表彰、部長表彰、所長表彰を行っています。

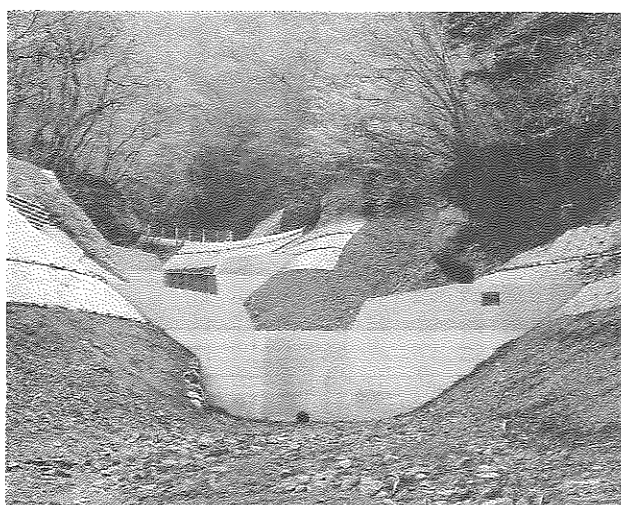
環境森林部発注工事に係る平成二十六年度の表彰工事は、二十五年度に完成した契約金額五〇〇万円以上の対象工事二百六十七件の中から、それぞれ品質管理・出来形・出来映え等による審査基準により厳正な審査が行われ、知事表彰三件、部長表彰八件、所長表彰七十四件が受賞の栄誉に輝きました。

受賞された皆様におかれましては、心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々の御研鑽を祈念申し上げます。

(森林保全課)



②知事表彰 安中市松井田町新井(西見)地内



①知事表彰 北群馬郡吉岡町上野田(上野原)外地内



③知事表彰 富岡市妙義町妙義(妙義神社)地内

平成26年度 群馬県建設工事表彰一覧表(知事・部長表彰)

1 知事表彰 3箇所 3社				
施工者	技術者名	事務所名	写真番号	
勝野建設 勝野 政和	小菅 雅之	渋川	①	
勝萩原工業 萩原 哲也	石井 雅人	西部	②	
岩井建設 岩井 重夫	佐藤 優	富岡	③	

2 部長表彰 8箇所 8社				
施工者	技術者名	事務所名		
土屋建設 土屋 博	小坂 照男	西部		
勝塚本工務店 塚本 定夫	本多 晃	藤岡		
神戸土木 神戸 康宏	桑原 昭一	富岡		
西毛建設 柳島 幸正	恩幣 秀彦	富岡		
市川工業 市川 盛康	津田 忠夫	富岡		
南波建設 南波 久美子	藤原 憲一	吾妻		
宮崎工務店 宮崎 通	佐藤 直之	吾妻		
小坂建設 小坂 哲平	星野 良	利根沼田		

新年あけましておめでとうございます。群馬県林業改良普及協会の皆様には、本年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。さて、昨年は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録、そして、木骨レング造の繰糸場と東西繭倉庫の国宝指定、さらには、本県マスコットのぐんまちゃんゆるキャラグランプリで待望の1位を獲得するなど本県にとって、大変明るい出来事が続きました。しかしながら、2月の歴史的な大雪や消費税増税による需要減、急激な円安による燃料や資材の高騰など林業・木材産業にとっては厳しい年でもありました。特に、きのこ産業においては、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により壊滅的な打撃を受けて以降、生産再興に取り組みで来た矢先の大雪による災害であり、被害を受けられた皆様には改めてお見舞いを申し上げます。県としても、倒壊した施設の撤去や生産施設の再建などできる限りの支援策を講じ、群馬のきのこ産業復活に全力で取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。また、「森林県」から「林業県」への飛躍を目指した森林・林業基本計画については、本年が計画期間の中間年となることから、これまでの施策や実績を総合的に評価分析し、目標達成に向けて、より効果的な施策への転換など取り組みを強化して参ります。さらには、人口減少という大きな社会構造の変化の中で、山村地域にある森林資源を有効に活用し、林業を成長産業として発展させていく必要があり、人材の育成等が急務となっております。普及事業に携わる県職員はもとより、地域の森林管理を担う森林施業プランナーの育成や高性能林業機械の操作をはじめ高度な技術を有する林業従事者の養成など、人材の確保・育成に取り組んで参ります。2020年には、東京オリンピックの開催も決定し、競技施設や大会関連施設への木材利用が期待される中で、木造高層ビルの建築も可能なCLT(直交積層パネル)が注目されており、こうした建築技術の普及も視野に、より一層の県産材利用の拡大に取り組んで参ります。本年も市町村や関係団体の皆様と連携し、本県の林業・木材産業、そしてきのこ産業の発展のために努力して参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ致します。結びに、皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

ぐんま林業学校 (林業基礎研修)

(背景)

本県の森林を維持管理する林業従事者は減少傾向にあり、高齢者の割合が高くなっています。一方、人工林などの森林資源は成長し、間伐や間伐材の利用など森林を適切に整備、保全していくことが求められています。

本県では「群馬県森林・林業基本計画」に基づき、林業の再生、山村の活性化を目指し、林業の担い手確保・育成に重点を置いていきます。

(研修内容)

【基礎研修(6日間)】

林業の現状や森林施業の知識、普通救命講習などを含めた労働安全の基礎的知識の習得、林業で使用する機械(チェーンソーや刈払機など)の安全衛生教育等。

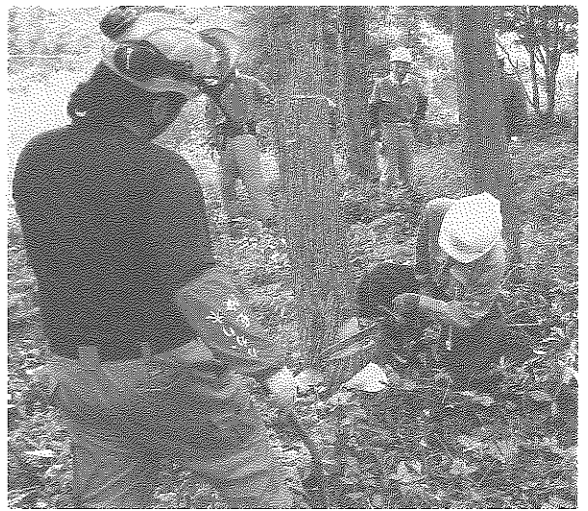
【実地研修(5日間)】

県内の森林組合等の林業事業体において、刈払機やチェーンソーを使用した現場の実習。

(研修実施状況)

平成26年9月4日から19日まで実11日間実施しました。受講した研修生は9名です。

研修初日は、群馬県林業の現状や林業基礎知識の講義を行い、研修生は普段聞き慣れ



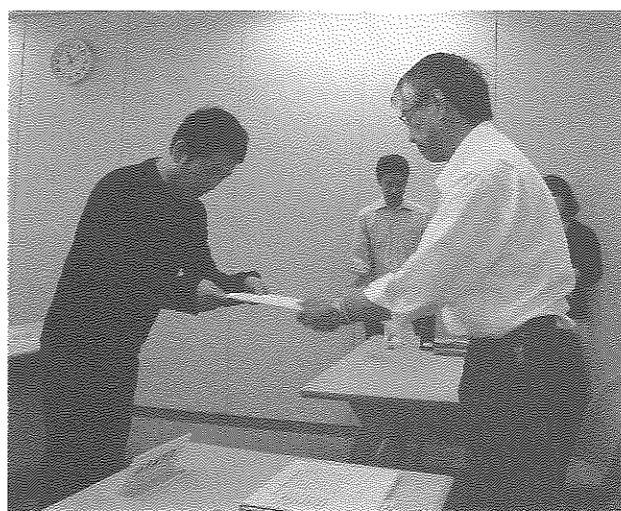
チェーンソー講習の様子

で、草刈りや伐倒作業などの実地研修を行いました。この研修は、林業事業体の生の現場を直接体験できる貴重な場であり、研修生も作業員と一緒に汗を流しました。

十一日目は、林業労働力確保支援センターからの雇用改革アドバイザーによる就業相談や既就業者との意見交換会を行いました。既就業者からは現場の体験や就業の動機などの説明があり、貴重な話を聞くことが出来たと思います。

そして、最後は今後の林業への就業定着の期待を込めて、全日程終了した研修生に研修修了書を手渡しました。

(林業振興課)



研修修了書の授与

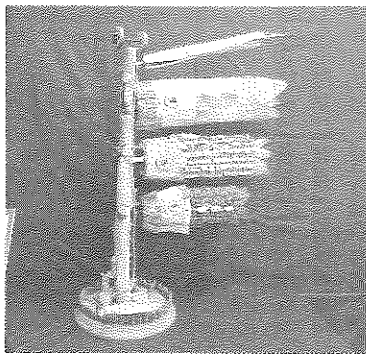
ない用語や見知らぬことに興味を持って受講していました。二日目は、消防本部から講師を招き、普通救命講習を行いました。研修生の中には初めての受講者もいましたが、救命の大切さ・心肺蘇生法及びAEDの操作方法を習得しました。林業は山の中の仕事なので、AEDは装備されています。山中で心肺停止状態の方を助けるためには、「心肺蘇生法」が重要だと認識出来ました。

三日目から五日目は、チェーンソー伐木等安全衛生教育と刈り払い機作業従事者安全衛生教育を実施しました。研修生は初めて扱うチェーンソーに興味と不安が交錯していました。

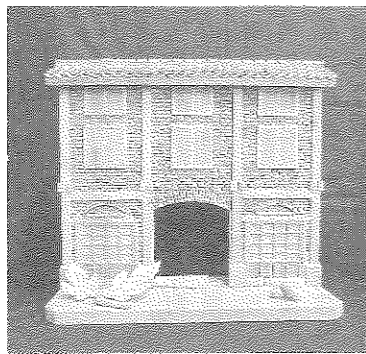
六日目から十日目は、県内の各林業事業体

第三十九回群馬県児童生徒木工工作コンクール

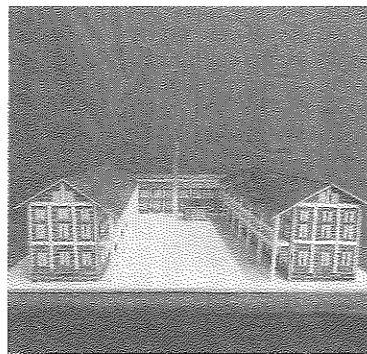
子どもたちに「木の良さ」を知ってもらうために、木工工作コンクールを開催しました。群馬県知事賞受賞作品は次の3点です。



「こいのぼり」
高崎市立金古小学校
小澤 亜愛(4年)



「富岡製糸場のもけい」
沼田市立沼田北小学校
小坂 涼介(5年)



「世界遺産富岡製糸場」
安中市立第二中学校
鈴木 深結(2年)

第四十五回群馬県優良素材展示会

県内各地から生産される優良素材を展示することで、需要動向に応じた良質素材の出荷奨励・生産技術の向上を図り、本県林業の発展に寄与することを目的とした群馬県主催の展示会が開催され、十二月三日に群馬県森林組合連合会が入賞者の表彰式が行われました。最優秀賞・優秀賞は次の方々でした。

最優秀賞	群馬県知事賞	林野庁長官賞
新井 作治	群馬県知事賞	磯村産業株式会社
磯村産業株式会社	局長賞	並木 辺吉
並木 辺吉	局長賞	磯村産業株式会社



最優秀賞(群馬県知事賞)表彰の様子

お知らせ

■きのこ品評会

群馬県産きのこの品評会を開催します。二日間の日程で審査(二十七日)、表彰式及び展示品の即売(二十八日)が行われます。即売日には厳選されたきのこをお買い求め頂けますので、是非足をお運び下さい。

日程：平成二十七年一月二十七日・二十八日
場所：群馬県庁一階県民ホール北側
問い合わせ先：林業振興課きのこ普及室
TEL 027・226・3234

■群馬県農林水産業関係機関成果発表会

群馬県農林水産業関係機関による最新の研究や普及活動についての発表会を行います。林業分科会では、集約化施業をはじめとした普及成果、ならびに林業試験場からきのこ栽培における放射性セシウム低減技術等の研究成果をご紹介します。また、県民ホールにてパネル展示を行います。

日程：平成二十七年二月四日(水)
場所：県庁二十八階(林業分科会)
問い合わせ先：林業振興課きのこ普及室
TEL 027・226・3235

○今回は1984年、67号（春号）より、地区ごとに開催された椎茸品評会の様子を掲載しました。

昭和五十八年度 地区生椎茸品評会 上位入賞者

二月上旬に県下各林業事務所を単位とする生椎茸品評会が例年通り開催されましたが、地区毎の上位入賞者は次の方々でした。

- ◎第二十三回洪川林業事務所管内生椎茸品評会
- 優等 天笠利一 前橋市荒子町
 - 特等 須賀民雄 " 下大屋町
 - 一等 森田富雄 北橋村上箱田
 - 内田和之 前橋市二之宮町
 - 関根虎司 " 飯土井町
 - 藤井与一 北橋村小室
 - 萩原金司 " "
 - 森田元治 " 上箱田
- ◎第二十二回甘楽富岡地区生椎茸共進会
- 優等 野口孝雄 富岡市下黒岩
 - 特等 野口よし江 " "
 - 大河原秀雄 " 野上
 - 富田修栄 " "
 - 園部徳重 下仁田町南野牧
 - 吉田定雄 甘楽町天引
 - 永井 崇 下仁田町中小坂
 - 長岡 隆 " "
- ◎第二十四回吾妻地区生椎茸品評会
- 優等 後藤漢哉 高山村中山
 - 後藤富枝 " "
 - 田村武男 吾妻町原町
 - 有馬嘉太郎 高山村尻高
 - 宮崎和雄 " 中山
 - 向井椎茸生産組合 " "
 - 宮崎森一 吾妻町秋生
 - 後藤良吉 高山村中山
- ◎生椎茸以外の上位入賞者
- 利根沼田地区
 - まいたけ一等 須藤裕子 片品村鎌田
 - なめこ二等 大島寛子 沼田市苑知新田町
 - ひらたけ二等 小林征三 " 硯田町
 - 甘楽富岡地区
 - なめこ特等 永井 崇 下仁田町下小坂
 - " 一等 青木伊三郎 南牧村磐戸
 - ひらたけ一等 中野綾一 甘楽町秋畑
- ◎第二十四回高崎地区生椎茸品評会
- 優等 田島忠夫 榛名町上里見
 - 特等 深堀忠雄 高崎市鼻高
 - 後藤 孝 箕郷町善地
 - 深堀いせ 高崎市鼻高
 - 田島百合子 榛名町上里見
 - 田島秀樹 " "
 - 多胡治夫 " "
 - 柳沢久男 松井田町高梨子
 - 木村勝弘 " "
 - 神戸 勇 " 国衙
- ◎第二十二回東毛地区生椎茸品評会
- 優等 松村 仁 宮城村柏倉
 - 特等 松村宗作 " "
 - 六本木 太 " "
 - 一等 松村幸恵 " "
 - 大崎敬司 " "
 - 阿久沢 清 " 市之関
 - 六本木えい子 " 柏倉
 - 松村一夫 " "
 - 星野光男 " 苗ヶ島
- ◎第二十一回多野藤岡地区生椎茸品評会
- 優等 梶山 正 藤岡市西平井
 - 特等 中村博司 " 東平井
 - 折茂 甫 " 白石
 - 関沼福三郎 " 金井
 - 折茂文雄 " 白石
 - 増野 実 " "
 - 折茂藤代 " "
 - 梶山美紀子 " 西平井
 - 小林文雄 吉井町多比良
 - 西沢 明 中里村魚尾
- ◎第二十一回平形祐治 月夜野町下津
- 一等 平形祐治 月夜野町下津
 - 神戸 求 下仁田町青倉
 - 高瀬五郎 " 南野牧
 - 野口正雄 富岡市上黒岩
 - 矢野誠二 " "
 - 早川俊雄 " "
 - 下山和男 下仁田町馬山
 - 下山 馨 " "
 - 松浦安信 " "
 - 田中孝宜 中之条町中之条
 - 篠原 勇 碓氷村今井
 - 田村由春 吾妻町原町
 - 渡辺俊夫 " 萩生
 - 田中千代子 高山村中山
 - 小宮隆広 吾妻町厚田
 - 伊能秋男 中之条町伊勢町
 - 深代昭夫 高山村中山

大きいギンナンづくり

みどり市 星野 長太郎さん

ギンナンは特用林産物です。特用林産物とは「主として森林原野において産出されてきた産物で、通常林産物と称するもの（加工炭を含む）のうち、一般用材を除く品目の総称」（国の通達「特用林産振興基本方針」より）です。キノコ類や山菜類、竹類そして木炭等を思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれませんが。

ギンナンは「樹実類」ということでクリやクルミと同類のれつきとした特用林産物なのです。

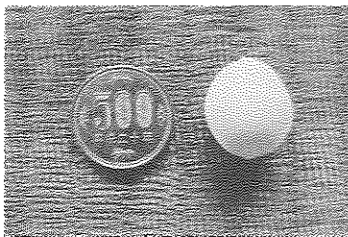
今回は、ギンナンを群馬県で一番多く生産している星野長太郎さんを紹介します。星野さんのギンナンは大きいうえに味が良いと好評です。

星野さんはみどり市東町花輪在住。56歳のときに、おじさんが桐生市新里町に造成した2畝のギンナン畑を引き継ぐ形で生産をスタートしました。今年で9年目になります。当初の収穫量は3.5ト/年。丹精込めて手入れをして、今や倍の年間7トを収穫するまでにになりました。

三種類のギンナンを作っています。早生の「金兵衛」（きんべえ）が1割、中生の「久寿」（きゆうじゆ）が6割、晩生の「藤九郎」（とうくろう）が3割です。

「藤九郎」は大型で豊円形をしている、殻のキメが細かく白い、殻が薄く割りやすい、品質、食味ともに良好、貯蔵性に優れているなどの特徴を持っていて、大きいものは高価で取引されます。首都圏の料亭などに出回っているのかもしれませんが。

サイズは3L、2L、L、Sの4サイズ。3L・2Lサイズで全体の60%を占めるそうです。こんな大きなギンナンがあるとは知りませんでした。主な出荷先は新田みどり農業協同組合です。一部は地元の農産物直売所で販売しています。



サイズ：3L

収穫から出荷するまでには 収穫 ↓ 洗い ↓ 乾燥 ↓ 選別 ↓ パック詰め の5工程があります。

収穫期の朝は早い。三時に起床し、途中朝食を購入し三時四十分には「長太郎農園」着。「パック詰め」の3人のバイトの皆さんが来る十時までに「選別」までの工程をひとりで

こなします。その後も夕方まで働きづめです。「収穫」は10人のバイトの皆さんに頼んでいます。お手伝いはみどり市東町の知り合いで、地元の雇用創出にも一役買っています。

最後にギンナンの購入についてご案内します。富弘美術館駐車場にある「あずま農産物直売所」（みどり市東町草木86 TEL（0277）951-6331）や道の駅くろほね「やまびこ」（桐生市黒保根町下田沢91の4 TEL（0277）961-2575）で購入できます。

他に干し柿生産（一万二千個/年）をしたり、農作物を作ったりと「働きたいもの長太郎さん」の多角経営は続きます。

（桐生森林事務所通信員）



選別中の星野さん

各地の便り

木造公共施設建設 現場視察研修の開催

平成二十六年十一月六日、玉村町立第四保育所の建築現場において、渋川地区林業振興協会と渋川森林事務所の共催で、公共施設の木造化を推進するための視察研修を開催しました。

当日は、農林関係課はもとより建築住宅、都市計画、教育施設関係課等の市町村職員、木材・林業関係者の三十四名が参加しました。玉村町では、人口がやや減少傾向にあるものの保育所待機児童が毎年度発生している状況もあり、老朽化した第四保育所を建て替えることとしました。

第四保育所は、木造平屋建て1399平方メートルで、(株)シエルトのKES工法



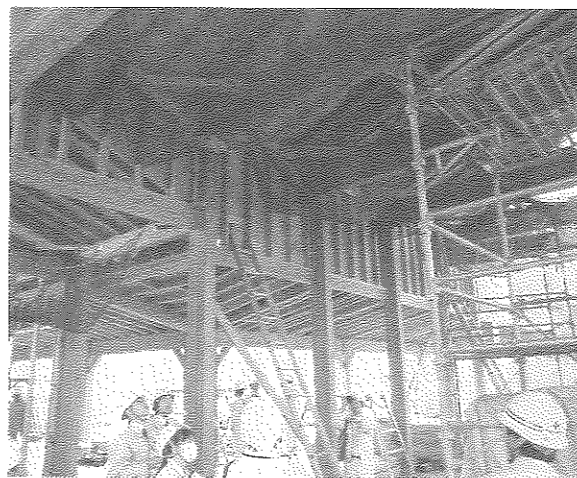
渋川林業振興協会田中副会長のあいさつ

を採用し、燃えしる設計を用いた準耐火性の木造構造です。

スギ、カラマツの構造用集成材など木材使用量は317立法メートルで、うち地域材である県産材は225立法メートル、県産材使用率は七〇・九%となっています。

事業費は造成工事費、園舎建設工事費、太陽光発電設備工事費など、約4億4000万円です。園舎の木造工事部分は県林業・木材産業再生緊急対策事業補助金(1億2000万円余)が利用されています。

参加者からは、構造等に関する熱心な質問が寄せられ、今後の公共施設の木造化が期待される研修会となりました。



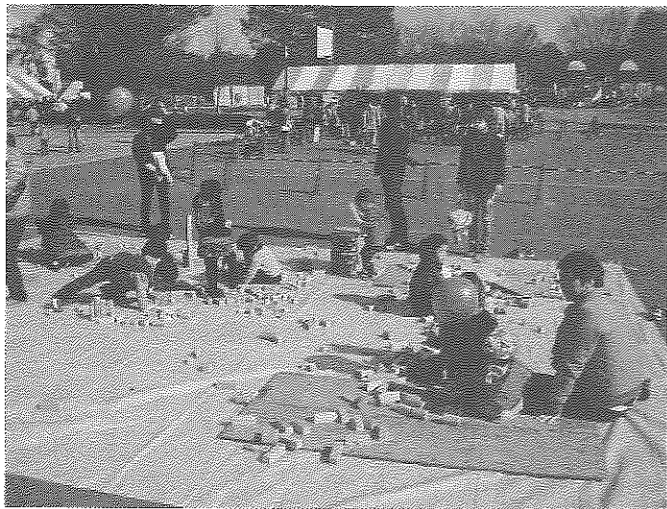
(渋川森林事務所通信員)

かぶら森と木のまつり開催

十一月十六日(日)秋晴れの富岡市もみじ平総合公園で「第九回富岡市産業祭」が開催されました。

今年には特に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を祝して、ゆるきゃら®グランプリ2014の第一位に輝いた群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」と多数のご当地キャラクターがイベントを盛り上げました。

特設広場の「かぶら森と木のまつり」では甘楽富岡地域の林業・木材業の関係団体の参



積み木広場

特用林産物の 消費拡大イベント

秋が深まり、農林産物の収穫期を迎え、キノコや木炭など山の恵みを消費者にアピールする催しが、週末ごとに各地で開催され、私達普及指導員もこれらに参加し、微力ながら、地元特用林産物の振興を応援しました。

○片品村総合産業文化展「きのこ部門・木炭部門品評会」審査(十一月二日・役場)

○キノコ汁の試食
・みなかみ町農業まつり 水上会場(十一月二日、水紀行館) 新治会場(十一月九日、JA利根沼田新治支店駐車場)

・直売所「月夜野はーべすと」収穫祭(十一月三日、道の駅「矢瀬親水公園」)
・前橋総合卸売市場まつり(十一月十六日、前橋総合卸売市場)



揃いの法被で記念撮影

イベントにきた皆さんに、山の恵みを味わってもらい、生産振興につなげようとキノコ生産者、農協担当者等と千六百人分のキノコ汁を作りました。大鍋



人気の木製パッコン

加により「ぐんまの木で家づくり支援事業」や「憩いの森自然講座」のPR、「林業経営等新規参入相談会」や「林業クイズ」

県産材ベンチ即売会」などがおこなわれ、多くの人に県産木材の積極利用と森に親しむ機会に触れてもらいました。
「なんもくカービングクラブ」のチェーンソーアートの実演では、刻々と刻まれていく丸太の彫像が来場者の興味を集め、子供らはおなじみの「積み木広場」や「木のコースター作り」に興じて過ごしました。

当日用意した一六〇組の「木製ぱっこん」も飛ぶように売れ、二万人を超す記録的な来場者を迎えた一日に地域産木材の利用拡大のPRに手応えを感じました。これからも地域のイベントを活用しながら、生産者と消費者の交流をテーマにしたPRをしていきたいと考えております。

(富岡森林事務所通信員)

に湯を張り、キノコを細かくほぐし、うまみが出るまでじっくり煮込みます。行列に並んだ人達にできたてを食べていただくとうと、盛りつけは一鍋四百人分を配り終えるまで数十分間、手を休める暇がない忙しさでした。寒風の中、シイタケ、マイタケ、ナメコ、ブナシメジ、アラゲキクラゲ等利根沼田産キノコが空腹と寒さをいやしてくれます。「おいしい」「キノコを買って帰りたい」と賞められ、一同疲れも吹き飛びました。一緒に作業した生産者さんは、おいしそうに食べていただく顔を直接見られて元気づけられたと喜び、私達指導員も、仕事で接する時とは違った親しみを感じました。生産者は未だに、放射性物質汚染によるキノコ生産の低迷に苦しんでいます。消費者とふれあうことも、生産者を勇気づける効果があることを実感しました。

(利根沼田環境森林事務所通信員)

各地の便り

文化放送で県産きのこPR

立冬も過ぎ、冬の気配が感じられる十一月十四日、群馬県きのこ振興協議会の主催による、「群馬県産きのこ試食・即売会」が、東京都港区浜松町の文化放送エントランスで行われました。

この催しは昨年から始められたもので、富田県協議会長のラジオ生出演によるPRと共に、きのこの販売ときのこ汁の試食を行い、東京の方々に群馬県産きのこを大いに売り込もうというものです。

今年の当番地区は吾妻ということで、富田会長、全農ぐんま職員と共に、吾妻地区きのこ振興協議会の正副会長以下精鋭五名と通信員一名が参加しました。

即売会では、吾妻産生しいたけ、まいたけ、ぶなしめじ、ひらたけ、なめこ単品や数種類



販売は盛況でした



ほだ木、菌床の展示

の詰め合わせ等を五百パック程度販売しました。

更に、消費者にきのこ生産の実際をもっと知ってもらおうと、原木や菌床も展示しましたが、大いにお客

さんの興味を引いたようでした。

会場がビジネス街の中ということで、十時の販売開始時の出足が悪く、どうなることかと危ぶまれましたが、ラジオ放送の効果もあり、昼頃からお客さんも集まりだし、販売は順調で予定よりも早く完売しました。特にきのこの詰め合わせは人気があり一番早く売り切れになりました。



きのこ汁も好評でした

今後も、この様な催しをとおりして、群馬のきのこを大いに売り込み、消費拡大が進むことが期待されます。

(吾妻環境森林事務所通信員)

わたらせ森と木のまつり

平成二十六年十一月九日(日)に桐生市稲荷町の新川公園で第十三回「わたらせ森と木のまつり」が開催されました。

このまつりは、地域の生産者団体が主体となり、消費者に対して木材やキノコ等地場産の林産物の普及啓発と販売促進活動を展開することにより、地域の森林・林業・木材・キノコ産業の活性化を図ることを目的としています。

準備しているときは曇天だったものの、十時の開会式の頃には霧雨模様になりました。その後は断続的に小雨が降るあいにくの天気。終了時間は予定を一時繰り上げて十四時になりました。



木工工作

テーマは例年どおり「森からの贈り物を皆様にお届けします」。「秋の実り」としてきのこ汁の試食やキノコなどの展

地域を担う

(有)青木林業

狩野 悟

下仁田町森林組合

中林 悠平

示・即売をしました。
「森の恵みと遊び」としてリースづくり、木工工作体験、間伐材へのお絵かき、チェンソーの実演を楽しんでもらいました。
「森と木のめぐみ」として木製ベンチや木炭・木酢液の即売をしました。
悪天候の中でも、ありがたいことに二〇〇〇人余りの来場者がありました。森と木のまつりが地域に定着してきたのでしょうか。「毎年楽しみにしています」といったうれしい声も聞かれました。



小枝のモックンづくり

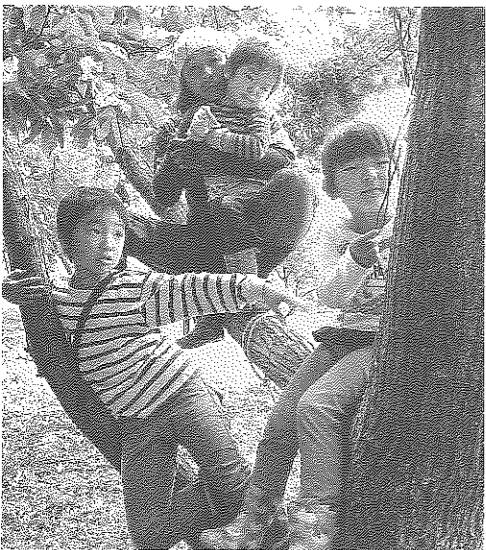
(桐生森林事務所通信員)

一 趣味
ドライブ
二 今後の抱負
上野村の青木林業に就職して3年が過ぎました。就業期間中は、フォレストワーカー研修



生として、いろいろな資格や技能を習得させていただきました。従業員が少ないため、私のような経験が浅いものでも林業機械等の運転業務にあたる機会が多くあります。入社当時、複数名で行っていた造材作業も、今ではプロセッサを用いて1人で行うようになり、機械化による作業の効率化を感じているところであります。新しい従業員も加わり、これまで以上に安全意識を高めつつ、生産性の向上を目指して行きたいと考えています。

一 趣味
子育てや仕事に時間がとられ、続けられる趣味はなかなか持てないが、今やってみたいのは「ロッククライミング」です。
二 今後の抱負
林業は大変だけど、やりがいのある仕事。これからも林業の大切さ、楽しさを若い人や子供たちにも伝えていけたらと思っています。林業サイコー！



地域を担う人

下仁田町森林組合

小林 豊

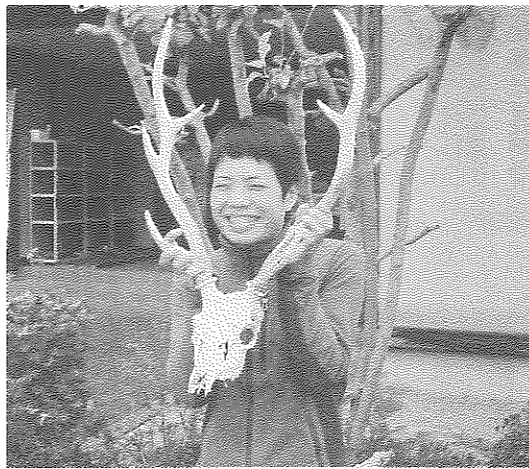
- 一 趣味
ヨガ
- 二 今後の抱負
「安全第一」で仕事を進め、全ての職務にわたり、技術を磨きながら深化させていきます。



下仁田町森林組合

宮本 奈枝

- 一 趣味
オートバイ。やっと買ったバイクをかつこよく乗りこなしたい。ワナ免許を取ったので、今シーズン中に一頭ぐらいは捕りたい。壁とか岩とかも含め、色々たのぼってみたい。
- 二 今後の抱負
造林・育林がこれからの林業の課題になつてくると考えています。植樹体験やお祭りの時には獣害の現状などを訴え、多くの人に認知してもらえたらと思うのです。また、シカやイノシシを一頭丸々さばける人間になりたいです。



利根沼田森林組合

高井 聖耶

- 一 趣味
映画鑑賞
- 二 今後の抱負
これまで山で仕事をしてきて大きな怪我はなかったけれど危険な作業が多いのでこれからも一層、気を引き締めて仕事をしていきたいです。その中で技術の向上を図れたら良いと思います。



利根沼田森林組合

細谷 里志

- 一 趣味
サッカー車
- 二 今後の抱負
安全第一を常に頭におき効率の良い作業をして技術の向上を図れるようにする。



利根町森林組合

井上 巻雄

- 一 趣味
登山
- 二 今後の抱負
ケガをしない様に作業をする。

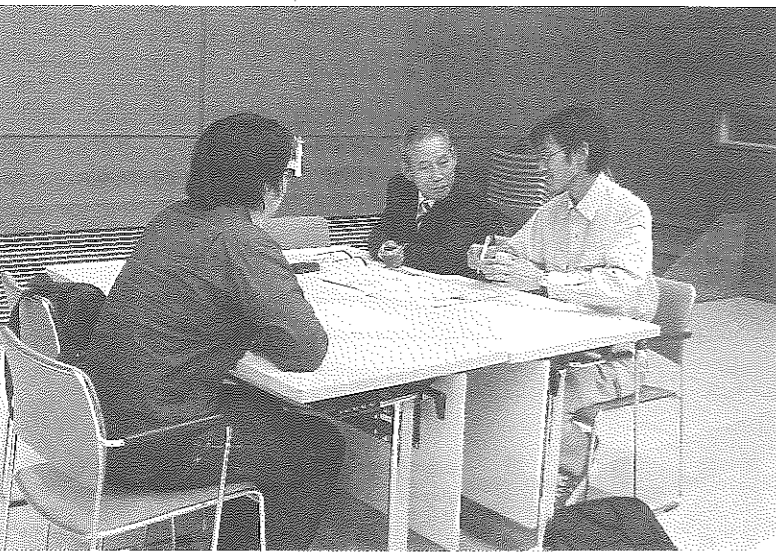


利根町森林組合

星野 光

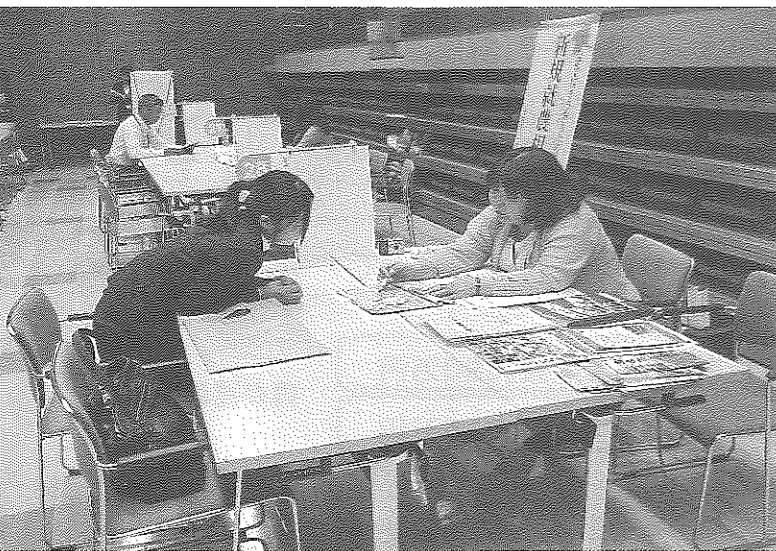
- 一 趣味
狩猟、友釣り、パチンコ
- 二 今後の抱負
フォレストワーカー3年間の研修も終わり、山仕事が楽しく自然の中で働く喜びを実感しています。私の場合は主に造林の仕事をしておりますが、自分で植えた樹木がすくすく育ち、豊かな森へと変わって行く様子を、これからも見守って行きたいです。



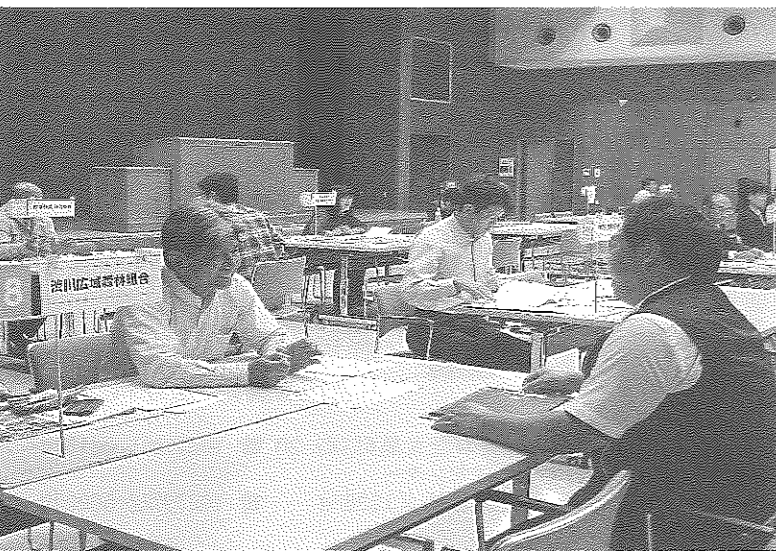


農林業就職面接会

平成二十六年十月七日に前橋市の群馬県市町村会館大研修室において、平成二十六年度農林業就職面接会が開催されました。
農林業の分野では、就業者の減少と高齢化が進み、新規就業者も少なく、担い手の確保が課題となっています。



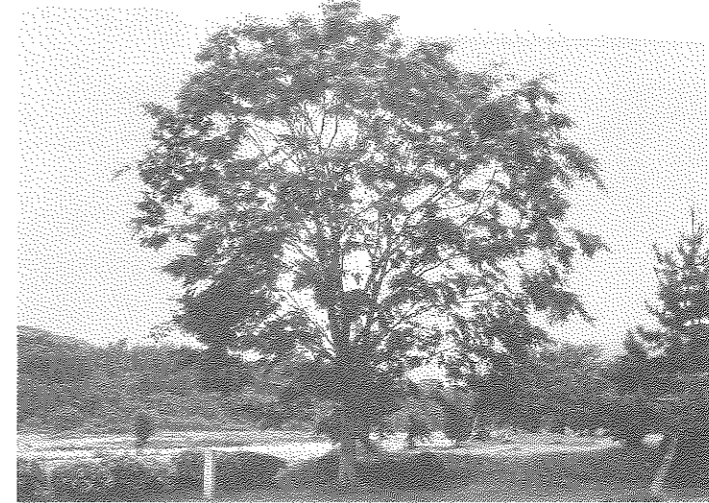
このような状況の中、若年労働者や技能継承者の不足を解消するため、新規学校卒業者と一般求職者を対象とし、就業の機会を提供するために、県内の農林業関係二十四事業所の参加により実施されました。
また、当日は会場内に農業・畜産・林業の相談コーナーが開設され、各関係機関の相談員等による相談も実施されました。
アドバイザーが（一財）群馬県森林・緑整



備基金にて実施している林業就業相談から現場見学会、そして、ぐんま林業学校へと歩みを進めて、農林業就職面接会へと臨まれた県外からの参加者は「こんなにたくさんさんの林業事業体の採用担当者と話しをできる機会は無いので、今日は参加して本当に良かった。ぜひ、群馬県で林業就業したい。」と話していました。
（林業就業支援地域アドバイザー 田村美恵子）

林業試験場から

天然記念物等の収集・里帰り事業



原町の大ケヤキ(里帰りした後継樹)

群馬県林業試験場内にある樹木園は、面積三、二二ヘクタールの敷地に、約四五〇種、千五百本の樹木が植栽され、地元の子供たちや、多くの県民の「森林環境教育の場」として活用されています。

林試では、この樹木園内に、県内の天然記念物等の遺伝資源を保存し、展示する事業を一九七四年から四〇年間続けています。
二〇一四年三月現在、八七件の子孫を保存し、リストや配置図を整備しています。

また、県内の天然記念物等の親木が寿命や環境の変化で衰退し、あるいは枯死した際、挿し木や接ぎ木により苗木を育て、里帰りさせる作業を行っています。平成二六年現在、その数は五八件、約六〇〇本までになり、地元から喜ばれています。国指定あるいは元国指定天然記念物では、「妙義神社の大スギ」「榛名神社の矢立スギ」が、それぞれ神社の境内に戻り、「原町の大ケヤキ」は新たな場所に植栽され、次代へと引き継がれました。
今年「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録され、地元の市町を始め、県全体が歓迎ムードに包まれています。絹産業遺産群を構成する「高山社」を抱える藤岡市では、今年度から小中学校で桑の栽培と、蚕の飼育実習を取り入れています。また、商工会議所では、林試の樹木園内に保存した国指定天然記念物「薄根（うすね）の大桑」のクローンを、市の中心市街地に植栽し、シンボルにしたいと企画しました。「薄根の大桑」は、県北部の沼田市にあり、樹齢約千五百年、根元周囲は五、七mあり、ヤマグワでは全国一の大きさです。このことは新聞でも取り上げられ、「国天然記念物『薄根』、藤岡へ」との見出しで紹介されました。林試では、商工会議所からの依頼を受け、クローン苗を養苗し、この苗が十一月二三日（勤労感謝の日）藤岡市内で植樹されました。



薄根の大桑(育苗の様子)

また、十月二十五日（土）、二六日（日）の両日には、高崎市倉渕町三ノ倉の「道の駅くらぶち小栗の里」において、「巨木を語ろう全国フォーラム群馬高崎大会二〇一四」が開催され、今回紹介した内容についても事例紹介として発表しました。フォーラムでは基調講演や、事例発表、巨木めぐりツアーなどがあり、参加者の巨樹古木への関心の高さを実感しました。